

滋賀県基本構想と滋賀県DX推進戦略の関係について

滋賀県基本構想（平成31年3月策定） 変わる滋賀 続く幸せ

＜みんなで目指す2030年の姿＞
「経済」・「社会」・「環境」の
調和による持続可能な滋賀

人 自分らしい未来を描ける生き方

- ・生涯を通じた健康づくりと健康管理による予防
- ・生まれてから人生の最終段階まで切れ目のない適切な医療福祉サービスの提供
- ・誰もが居場所や生きがいを持ち、生涯を通じて自分らしく活躍できる社会づくり
- ・社会全体で子どもを育む環境の整備 等

経済

未来を拓く
新たな価値を生み出す産業

- ・グローバルな経営視点や、ICT、IoT、AI等の先端技術等による競争力を有する強い県内産業の創出
- ・働き方の多様化と働く場の魅力向上による多様な人材の確保と事業承継の支援 等

社会

未来を支える
多様な社会基盤

- ・ICT環境を含めた社会インフラの整備とコンパクトで移動・交流しやすいまちづくり
- ・自分たちの身近な暮らしを支える、安全・安心な地域づくり
- ・農山漁村の持つ多面的価値の持続可能な継承 等

環境

未来につなげる
豊かな自然の恵み

- ・琵琶湖を取り巻く環境の保全再生と自然の恵みの活用
- ・気候変動への対応と環境負荷の低減
- ・持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力

「滋賀県基本構想」で掲げる「みんなで目指す2030年の姿」の実現に向け、
地域や産業の持続可能な発展と県民の暮らしをより豊かにする新たな価値創造を、
「暮らし」「産業」「行政」の各分野のDXにより実現

滋賀県DX推進戦略（令和4年3月策定）

暮らしのDX

すべての県民が健康で快適な暮らしと
環境に配慮した豊かな生活を実感

- 【医療・福祉】本人を真ん中においた切れ目のないサービスの実現
- 【労働】多様な働き方の実現
- 【歴史・文化・スポーツ】誰もが居場所や生きがいを持ち、学び親しめる
- 【教育】たくましく、しなやかに生きる力を高めている
- 【社会インフラ】生活や産業活動を支える
- 【防災・防犯】地域とつながり、安全・安心な生活
- 【観光・地域活性化】多様な人がつながり、活躍できる

めざすべき姿と今後3年間（R4.4～R7.3）で取り組む事項

産業のDX

高付加価値化や省力化、生産性・安全性の
向上による持続可能な産業を実現

- 【農林水産業】誰もが楽しく、やりたくなる
- 【商工業】新たなサービスや製品が生まれている
- 【建設業】生産性・安全性向上や働き方改革の実現
- 【エネルギー・環境】気候変動への対応と環境負荷の低減

行政のDX

時間や場所を問わないワンストップで
県民本位の行政サービスが実現

- 【デジタルファースト】
提供者視点から利用者視点へ行政サービスの変革
- 【デジタルシフト】
変わる滋賀変わる行政デジタル化
- 【EBPM】
思い込みをなくした客観的な取組の推進



基盤づくり 誰もが利用できる、参加できる環境の整備
ひとづくり デジタル人材の育成・活躍